

大井小学校だより★



「自分づくりに励む子ども」「未来づくりにかかわろうとする子ども」の育成

令和8年7月10日 大井町立大井小学校長 発行 第4号

学校公開・環境美化活動

6月12日（土）の学校公開には、多数の保護者の皆様にご参観いただき、誠にありがとうございました。午前中3時間の授業公開では、国語や算数の授業をはじめ、工作に熱中したり、調べたことを発表したりと、さまざまな活動に一生懸命取り組む子どもたちの姿をご覧いただけたことと存じます。子どもたちは保護者の皆様の温かい見守りのもと、いつも以上に集中して、楽しそうに学習に取り組んでいました。学年によって

は、この日に向けて準備してきた発表を聞いていただいたり、一緒に工作に取り組んでいただいたりする場面もあり、充実した時間を共有することができました。

また、午後に行われた環境美化活動にも、運営ボランティアの方々をはじめ多くの方にご参加いただきました。保護者の皆様と一緒に汗を流す子どもたちの表情はとても嬉しそうで、共に活動することを心から楽しんでいる様子でした。皆様のご協力のおかげで、学校がたいへん美しくなりましたことに深く感謝申し上げます。これからも学校と家庭で手を携え、子どもたちの成長を共に見守っていただければ幸いです。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



共生社会の担い手を育む

学校公開日と同時に開催された「学校運営協議会」において、「大井小学校が考える『共生』の在り方」についてお話しする機会をいただきました。振り返れば、私自身が育ってきた時代は、何の疑問も抱くことのない「競争社会」でした。誰もが「スポーツも勉強もできて、品行方正で勇気のある働き者」という一つの理想像を目指し、競い合いながらひたすら突き進む。そんな時代だったように思います。しかし、現代社会の課題は想像以上に複雑化しています。もはや「個の力」や「画一的な思想」だけで太刀打ちできる時代ではなく、私たちは今、「競争」から「共生」への大きな転換期を迎えています。学習指導要領のなかに「持続可能な社会」「多様性」「共生」といった言葉があふれるようになったのも、その表れです。

子どもたちがこれから生きていくのは、互いの多様性を認め合い、それぞれの強みを発揮して困難な課題を解決していく「共生社会」です。だからこそ大井小学校は、その「共生社会の担い手」を育てる場でなければなりません。本校の学校教育目標にある「未来づくりにかかわろうとする子ども」、そして目指す学校像である「誰もが楽しく学べる学校」には、まさにこの思いが込められています。共生社会の担い手として、最も大切な資質は「他者を受容すること」です。「他の人との違いを非難せず、ありのままを受け入れて、仲良くする」。シンプルではありますが、この原点となる子どもたちの姿を、私たちは実直に目指し続けます。今後とも「誰もが楽しく学べる学校」の実現に向け、教職員一同も「互いの強み」を生かし、一丸となって取り組んでまいります。



系統的な指導～プール学習～

大井小学校では、学年の発達段階に合わせて、適切な水中での運動技能の習得をめざし、年間4回程度の「プールでの学習」を実施しています。今回は、どの学年でどのような技能獲得をめざして指導しているのか、そのポイントをお伝えします。



低学年でのプール学習は「水遊び」です。まずは「顔を水につける」ことが全ての学習の前提となります。（各ご家庭での洗顔や入浴の際にも、自然に水に親しむことができるようご支援ください。）顔がつけられるようになったら、「水の中での駆けっこ」や「まねっこ遊び（動物歩きなど）」、「石拾い」「浮く・潜る遊び」などの活動を通して、自然な「ストリームライン（水泳の基本姿勢）」の形成をめざします。



中学年からは「水泳運動」の学習となります。「け伸び」や「ばた足泳ぎやかえる足泳ぎ」などの初歩的な泳ぎで、ストリームラインを定着させ、「浮いて進む」動きを学びます。



高学年の「水泳運動」では、いよいよ本格的な泳法である「クロール」と「平泳ぎ」を学びます。学習指導要領では、「25～50m程度を目安にしたクロール・平泳ぎ」と、それに加え「ゆったりとした（手足の動作が大きな）クロール・平泳ぎ」が例示されています。この段階で全員に確

かな泳力を定着させられるよう、低・中学年からの前運動をしっかりと積み上げていきます。

命を守るための「安全確保につながる運動」が具体的に例示されているのも高学年になります。本校では「夏季休業中の水の事故」に備え、各学年の発達段階に応じて「着衣泳」を実践しております。各ご家庭におかれましても、休業中の水の事故には十分ご注意くださいとともに、子どもたちがこうした適切な技能を習得する機会の大切さについて、ぜひ話題にいただけると幸いです。

★6月の学校生活★

6月4日（木）、6年生が小田原税務署の税理士の方を講師にお迎えし、「租税教室」を実施しました。税金の種類や役割についての講話を聞いたり、「税金のない世界」を描いた映像を視聴したりしながら、子どもたちは「税金の大切さ」について理解を深めました。同日、ベルマーレフットボールアカデミーから2名の講師をお招きして「体育巡回授業」を実施しました。5年生たちが「自分も楽しい、仲間も楽しい」時間を作り上げようと、様々なプログラムに挑戦しました。



6月22日（月）には、4年生が大井町社会福祉協議会の方と清水様を講師としてお招きし、視覚に障がいのある方が日常生活で感じる不自由さや、人的支援の必要性などについて、ご自身の生活経験に基づいた貴重なお話をいただきました。



6月30日（火）、5年生の校外学習を実施しました。午前中は社会科「工業生産を支える人々」の学習の一環として「日産車体（株）湘南工場」を、午後は理科の学習に関連して「はまぎんこども宇宙科学館」を見学しました。実際の見学や体験を通して、子どもたちは日本の工業生産の現状に触れ、宇宙や地球の自然事象の不思議やきまりを肌で感じる事ができたようです。



さて、いよいよ来週末から夏季休業に入ります。子どもたちにとって、価値ある経験ができる貴重な時間となることを期待しています。